

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第11期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 デリカフーズ株式会社

【英訳名】 DELICA FOODS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小笠原 真清

【本店の所在の場所】 東京都足立区六町四丁目12番12号

【電話番号】 03(3858)1037(代表)

【事務連絡者氏名】 経理財務統括室長 中島 実哉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区六町四丁目12番12号

【電話番号】 03(3858)1037(代表)

【事務連絡者氏名】 経理財務統括室長 中島 実哉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第10期 第2四半期 連結累計期間	第11期 第2四半期 連結累計期間	第10期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	12,317,646	13,050,248	24,224,674
経常利益	(千円)	378,751	308,763	663,651
四半期(当期)純利益	(千円)	230,088	178,813	411,206
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	226,481	196,233	438,130
純資産額	(千円)	4,401,426	4,750,440	4,634,379
総資産額	(千円)	10,604,200	12,976,975	11,379,338
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	39.28	30.11	69.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	38.87	29.65	69.15
自己資本比率	(%)	41.5	36.6	40.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	253,746	399,544	457,158
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	606,670	1,019,796	1,146,093
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	24,938	1,348,764	559,490
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,559,091	2,539,022	1,809,861

回次		第10期 第2四半期 連結会計期間	第11期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	21.32	9.94

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行いました。第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や金融政策への期待感から、円安・株高が進行し、一部個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善の動きが見られるなど景気回復の兆しが見られました。しかしながら、海外における景気減速、円安による原材料・燃料価格の上昇等に対する懸念により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品関連業界におきましては、景気回復の期待感により消費マインドに改善の兆しが見られたものの、消費者の「低価格志向」・「節約志向」は依然として根強く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは青果物の機能性研究の成果を活かした提案型営業を推し進めたことや、当社グループ内において、継続的に取り組んでまいりました食品安全の確保ならびに品質保証・危機管理などのリスク管理体制を多くのお客様に高く評価いただけたことにより、新規顧客の獲得及び既存取引の深耕が順調に進捗いたしました。また、連結子会社である東京デリカフーズ株式会社において平成25年7月に竣工した東京第二F Sセンターが順調に稼動し、売上高増加に貢献いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,050百万円と前年同四半期と比べ732百万円(5.9%)の増収となりました。利益につきましては、当社グループ全体で契約産地の見直しや調達価格の交渉を行ったことによる効果はあったものの、東京第二F Sセンター開設による人件費・消耗品費等の立ち上げ費用の発生及び減価償却費等の増加により、営業利益は313百万円と前年同四半期と比べ75百万円(19.3%)の減益、経常利益は308百万円と前年同四半期と比べ69百万円(18.5%)の減益、四半期純利益は178百万円と前年同四半期と比べ51百万円(22.3%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

東日本

当セグメントの売上高は、東京デリカフーズ株式会社において平成25年7月に竣工した東京第二F Sセンターが順調に稼動し、新規顧客を多く獲得できたこと等により、8,159百万円と前年同四半期と比べ738百万円(10.0%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、東京第二F Sセンター開設による人件費・消耗品費等の立ち上げ費用の発生及び減価償却費等の増加により、117百万円と前年同四半期と比べ37百万円(24.3%)の減益となりました。

西日本

当セグメントの売上高は、重点営業先である事業給食の新規顧客を獲得することができた反面、大手外食チェーンの購買比率の見直し（複数社購買）等による既存取引先の売上の減少等により、4,873百万円と前年同四半期と比べ21百万円（0.4%）の減収となりました。セグメント利益（経常利益）は、7月から8月にかけての天候不順による産地の出荷調整や病気の発生に伴い調達価格が高騰したことにより、174百万円と前年同四半期と比べ25百万円（12.8%）の減益となりました。

持株会社

当セグメントの売上高は、297百万円と前年同四半期と比べ26百万円（9.6%）の増収となりました。セグメント利益（経常利益）は、104百万円と前年同四半期と比べ5百万円（5.9%）の増益となりました。

その他

当セグメントの売上高は、98百万円と前年同四半期と比べ10百万円（11.3%）の増収となりました。セグメント利益（経常利益）は、1百万円と前年同四半期と比べ2百万円（62.0%）の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、5,952百万円となりました。これは、主として現金及び預金が720百万円増加した一方、売掛金が137百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16.4%増加し、7,024百万円となりました。これは、主として東京デリカフーズ株式会社の東京第二F Sセンター竣工等により建設及び構築物が944百万円、機械装置及び運搬具が234百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて14.0%増加し、12,976百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、3,616百万円となりました。これは、主として短期借入金が140百万円、買掛金が62百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて57.1%増加し、4,609百万円となりました。これは、主として東京デリカフーズ株式会社の東京第二F Sセンター竣工等により長期借入金が1,562百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて22.0%増加し、8,226百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、4,750百万円となりました。これは、主として利益剰余金が95百万円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より729百万円増加し2,539百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益301百万円、減価償却費173百万円、売上債権の減少額136百万円が主要な収入であります。また、法人税等の支払額147百万円、仕入債務の減少額62百万円が主要な支出であります。以上の結果、399百万円の収入（前年同四半期は253百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入80百万円が主要な収入であります。また、有形固定資産の取得による支出1,012百万円、定期預金の預入による支出73百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,019百万円の支出（前年同四半期は606百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,900百万円が主要な収入であります。また、長期借入金の返済による支出305百万円、短期借入金の減少額140百万円、配当金の支払額82百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,348百万円の収入（前年同四半期は24百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は64百万円であります。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末に計画中でありました東京デリカフーズ株式会社の東京第二F Sセンターの建設については、平成25年7月に完了しております。これに伴い、生産能力は17%増加する見込みであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,242,000.00	6,242,000.00	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株でありま す。
計	6,242,000.00	6,242,000.00		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		6,242,000.00		759,755		1,091,242

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
館本 勲武	愛知県名古屋市中村区	1,226,000	19.64
館本 篤志	東京都足立区	1,019,200	16.33
デリカフーズ株式会社	東京都足立区六町四丁目12 - 12	302,502	4.85
デリカフーズグループ従業員持株会	東京都足立区六町四丁目12 - 12	149,400	2.39
野村 五郎	兵庫県明石市	114,400	1.83
小笠原 真清	愛知県名古屋市名東区	106,000	1.70
岡本 高宏	東京都足立区	100,000	1.60
杉 和也	兵庫県神戸市西区	77,400	1.24
岩崎 泰次	静岡県静岡市駿河区	74,600	1.20
大崎 善保	埼玉県草加市	64,200	1.03
計		3,233,702	51.81

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 302,500		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,938,800	59,388	同上
単元未満株式	普通株式 700		
発行済株式総数	6,242,000		
総株主の議決権		59,388	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式2株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) デリカフーズ株式会社	東京都足立区六町四丁目 12番12号	302,500		302,500	4.85
計		302,500		302,500	4.85

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,292,270	3,012,505
売掛金	2,820,063	2,682,658
有価証券	17,429	19,760
商品及び製品	63,462	66,295
仕掛品	1,194	2,411
原材料及び貯蔵品	29,720	33,679
その他	133,226	149,811
貸倒引当金	14,011	14,495
流動資産合計	5,343,356	5,952,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,616,413	2,560,991
土地	3,079,217	3,079,217
その他(純額)	789,365	801,224
有形固定資産合計	5,484,996	6,441,433
無形固定資産		
その他	38,416	35,609
無形固定資産合計	38,416	35,609
投資その他の資産		
その他	524,878	560,885
貸倒引当金	12,309	13,579
投資その他の資産合計	512,569	547,305
固定資産合計	6,035,981	7,024,348
資産合計	11,379,338	12,976,975

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,436,726	1,374,646
短期借入金	800,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	556,000	587,972
未払法人税等	128,804	104,303
未払金	721,836	714,781
賞与引当金	65,935	66,419
その他	100,855	108,623
流動負債合計	3,810,158	3,616,745
固定負債		
長期借入金	2,810,288	4,372,990
退職給付引当金	46,428	47,340
その他	78,083	189,459
固定負債合計	2,934,800	4,609,789
負債合計	6,744,958	8,226,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,755	759,755
資本剰余金	1,572,315	1,572,315
利益剰余金	2,404,633	2,500,294
自己株式	137,471	137,471
株主資本合計	4,599,234	4,694,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,867	48,287
その他の包括利益累計額合計	30,867	48,287
新株予約権	4,278	7,258
純資産合計	4,634,379	4,750,440
負債純資産合計	11,379,338	12,976,975

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,317,646	13,050,248
売上原価	9,259,514	9,866,200
売上総利益	3,058,132	3,184,048
販売費及び一般管理費	2,669,293	2,870,362
営業利益	388,838	313,685
営業外収益		
受取利息	1,792	2,437
受取配当金	1,101	1,269
業務受託手数料	2,339	5,129
物品売却益	3,109	3,689
その他	6,368	12,227
営業外収益合計	14,711	24,753
営業外費用		
支払利息	24,568	29,670
その他	229	3
営業外費用合計	24,798	29,674
経常利益	378,751	308,763
特別利益		
受取補償金	11,858	924
その他	-	290
特別利益合計	11,858	1,214
特別損失		
固定資産除却損	-	2,041
減損損失	-	3,473
不動産取得税等	6,291	893
その他	-	1,654
特別損失合計	6,291	8,063
税金等調整前四半期純利益	384,319	301,915
法人税、住民税及び事業税	154,230	123,101
法人税等合計	154,230	123,101
少数株主損益調整前四半期純利益	230,088	178,813
四半期純利益	230,088	178,813

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	230,088	178,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,607	17,420
その他の包括利益合計	3,607	17,420
四半期包括利益	226,481	196,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,481	196,233
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	384,319	301,915
減価償却費	134,598	173,260
株式報酬費用	1,084	2,979
引当金の増減額(は減少)	422	3,149
受取利息及び受取配当金	2,894	3,707
支払利息	24,568	29,670
減損損失	-	3,473
売上債権の増減額(は増加)	69,122	136,134
たな卸資産の増減額(は増加)	18,330	8,009
仕入債務の増減額(は減少)	117,868	62,080
その他	10,441	3,365
小計	501,242	573,421
利息及び配当金の受取額	2,562	3,648
利息の支払額	24,761	29,923
法人税等の支払額	225,297	147,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,746	399,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	59,405	73,804
定期預金の払戻による収入	150,000	80,400
有形固定資産の取得による支出	678,943	1,012,369
無形固定資産の取得による支出	3,159	3,375
投資有価証券の取得による支出	3,172	3,407
その他	11,990	7,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	606,670	1,019,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	175,001	140,000
長期借入れによる収入	320,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	439,084	305,326
リース債務の返済による支出	19,201	23,244
配当金の支払額	61,653	82,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,938	1,348,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	544	648
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	378,407	729,161
現金及び現金同等物の期首残高	1,937,498	1,809,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,559,091	2,539,022

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。
運賃 942,868 千円	運賃 1,023,314 千円
給与手当 808,350 "	給与手当 868,556 "
賞与引当金繰入額 55,774 "	賞与引当金繰入額 52,244 "
退職給付費用 3,957 "	退職給付費用 3,664 "
貸倒引当金繰入額 517 "	貸倒引当金繰入額 3,872 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。
現金及び預金 2,014,424 千円	現金及び預金 3,012,505 千円
有価証券 9,890 "	有価証券 19,760 "
計 2,024,314 千円	計 3,032,265 千円
預入期間が3か月超の定期預金 465,223 "	預入期間が3か月超の定期預金 493,243 "
現金及び現金同等物 1,559,091 千円	現金及び現金同等物 2,539,022 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	62,241	4,250.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	83,152	28.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)4	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)5
	東日本 (注)1	西日本 (注)2	持株会社	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,404,787	4,887,345		12,292,132	25,514	12,317,646		12,317,646
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,737	7,689	271,650	295,077	63,200	358,277	358,277	
計	7,420,524	4,895,035	271,650	12,587,209	88,714	12,675,924	358,277	12,317,646
セグメント利益	155,951	199,889	98,639	454,480	3,614	458,095	79,344	378,751

- (注) 1. 「東日本」の区分は関東、東北、九州地区において事業を行っている報告セグメントであります。
 2. 「西日本」の区分は東海、関西地区において事業を行っている報告セグメントであります。
 3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントである研究開発会社であります。
 4. セグメント利益の調整額 79,344千円は、セグメント間取引消去であります。
 5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)4	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)5
	東日本 (注)1	西日本 (注)2	持株会社	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,144,312	4,865,967		13,010,279	39,969	13,050,248		13,050,248
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,909	7,293	297,840	320,042	58,771	378,814	378,814	
計	8,159,221	4,873,260	297,840	13,330,322	98,741	13,429,063	378,814	13,050,248
セグメント利益	117,989	174,297	104,504	396,791	1,372	398,163	89,400	308,763

- (注) 1. 「東日本」の区分は関東、東北、九州地区において事業を行っている報告セグメントであります。
 2. 「西日本」の区分は東海、関西地区において事業を行っている報告セグメントであります。
 3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントである研究開発会社であります。
 4. セグメント利益の調整額 89,400千円は、セグメント間取引消去であります。
 5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	39円28銭	30円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	230,088	178,813
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	230,088	178,813
普通株式の期中平均株式数(株)	5,858,000.00	5,939,498.00
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	38円87銭	29円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)		
新株予約権	61,856.27	92,264.40
普通株式増加数(株)	61,856.27	92,264.40
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 平成25年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

デリカフーズ株式会社
取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山崎 清孝 印

業務執行社員 公認会計士 岩淵 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているデリカフーズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、デリカフーズ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。